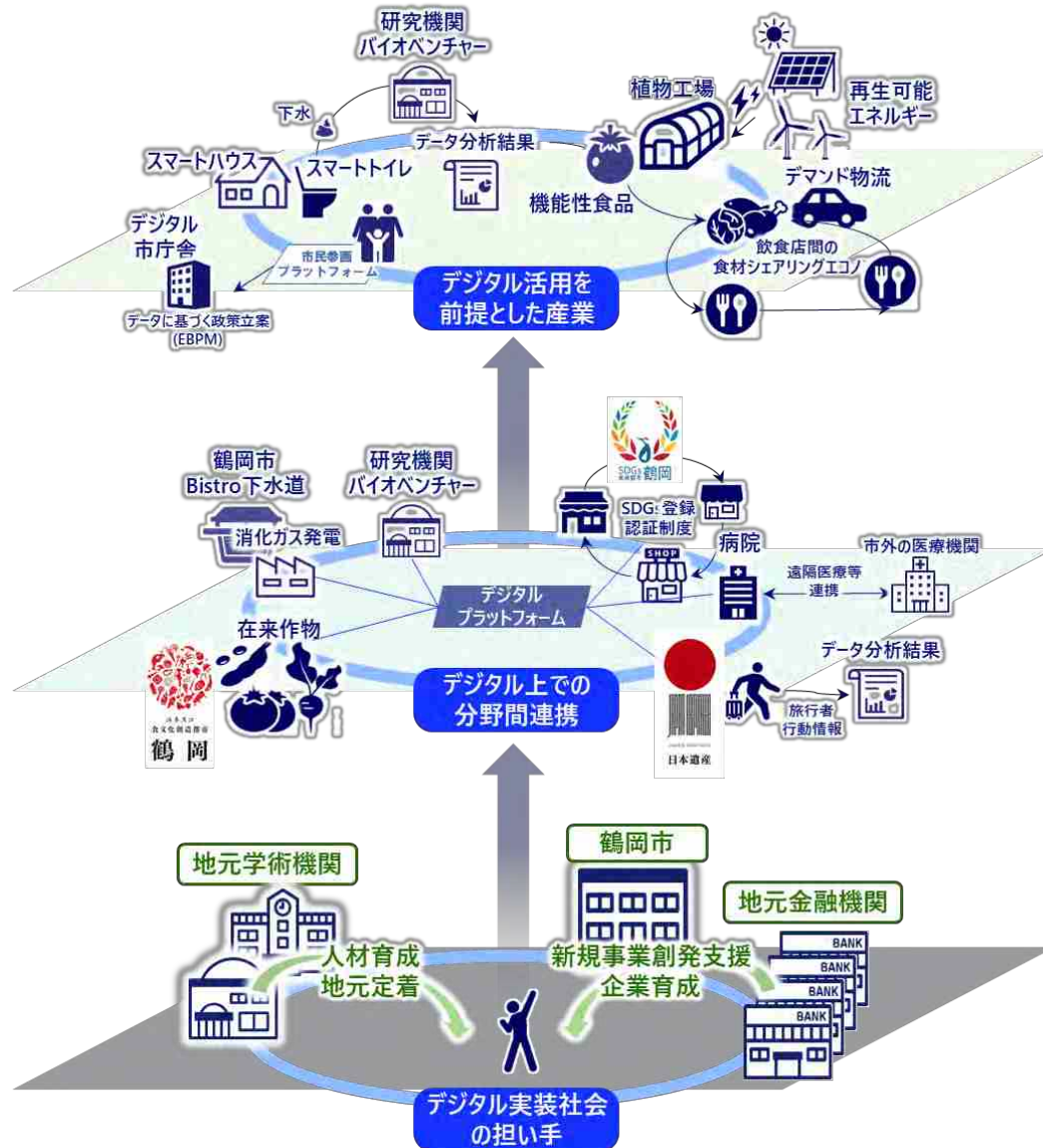


デジタル実装社会の担い手を地域一丸となり育成し、伝統と先端をデジタルで繋げる。  
そして、従来地域に無かった持続可能な新たな価値を創り出す。



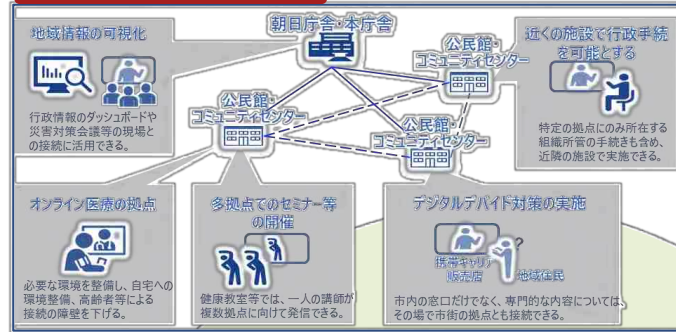
持続可能な  
新たな価値を創る

伝統と先端の特色を活かした  
魅力を広げ、繋ぐ

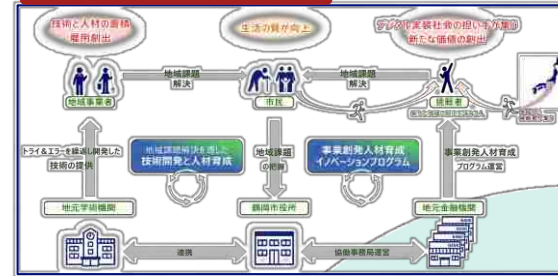
地域社会の発展を担う  
挑戦人材を育成する

# ローカルハブ、ウェルビーイングコミュニティの方針に沿い、複数の施策に並行して取り組む。

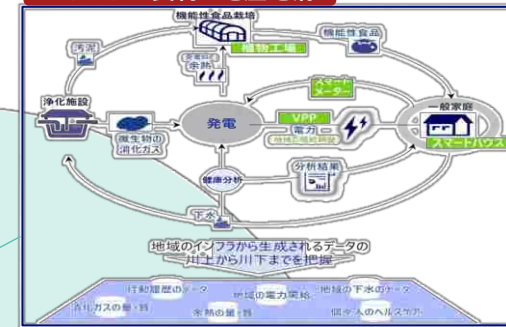
## 行政拠点の遠隔接続



## 新事業創発の環境・人材整備



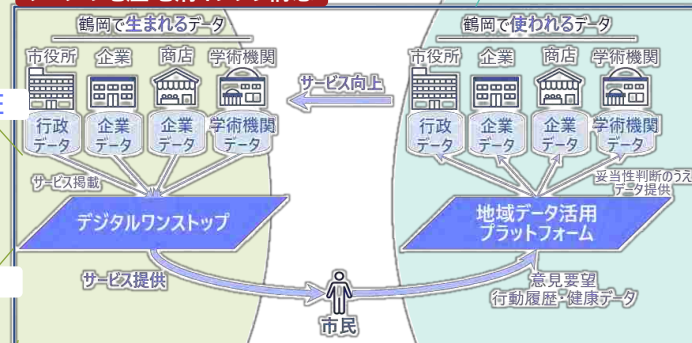
## エネルギー・食物の地産地消



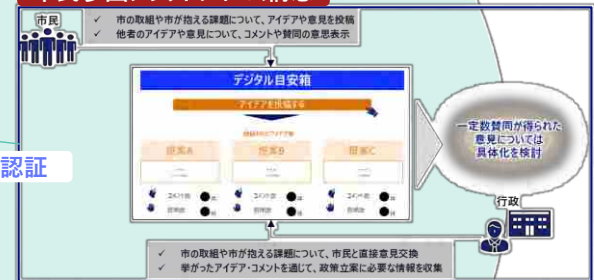
## 鳥獣被害対策・スマート農業



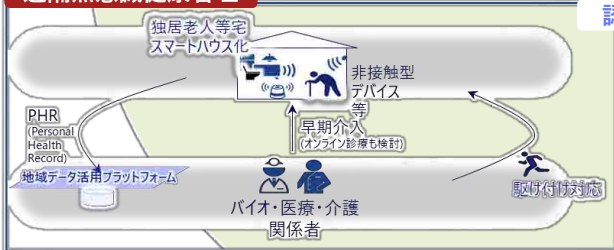
## データの地産地消インフラ構築



## 市民参画プラットフォーム構築



## 遠隔無意識健康管理



## 防災情報共有プラットフォーム

	平時の計画・訓練	避難環境の確保と情報共有化・伝達	避難後生活支援
課題	市民の自宅リスクへの認識不足が有事の適切な行動判断を阻害	情報発信の個別対応で、事務局職員の対応余力が低下	必要な情報やサービスを必要人に届けられない
目的	防災意識の啓発 市民の防災・減災対策の促進	効果的な情報伝達による 災害時の被災回避行動の促進	ワンストップ情報窓口の提供 による避難者・被災者支援の充実
整備内容	ハザードマップ ヒヤリ・ハット集 提供	マイタイムライン 自宅の減災カルテ 作成	避難者情報 の速時・的確な伝達 避難者情報の登録 被災者支援情報等 の提供
	災害情報共有プラットフォーム		

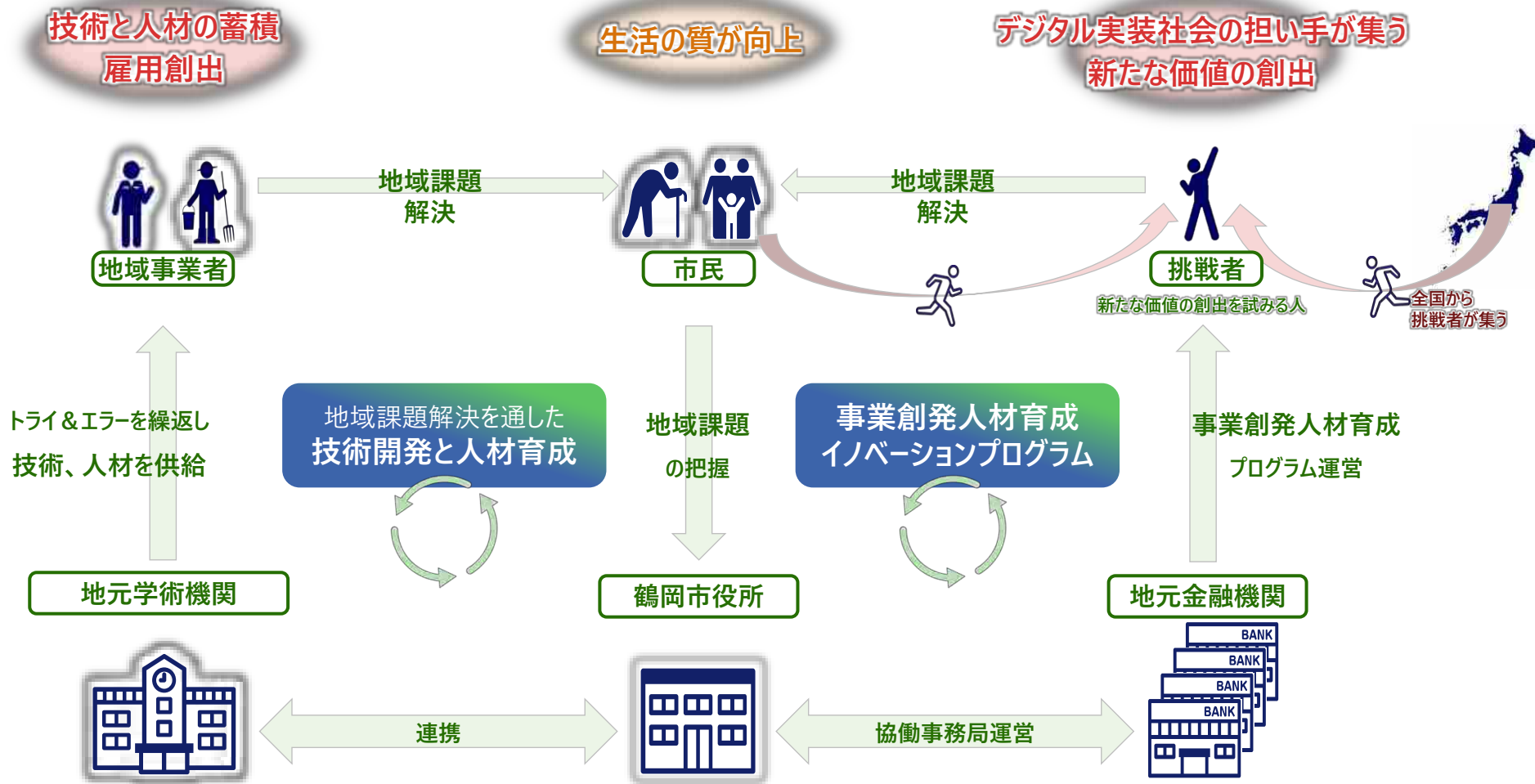
## SDGs登録認証制度



## 人流データ分析

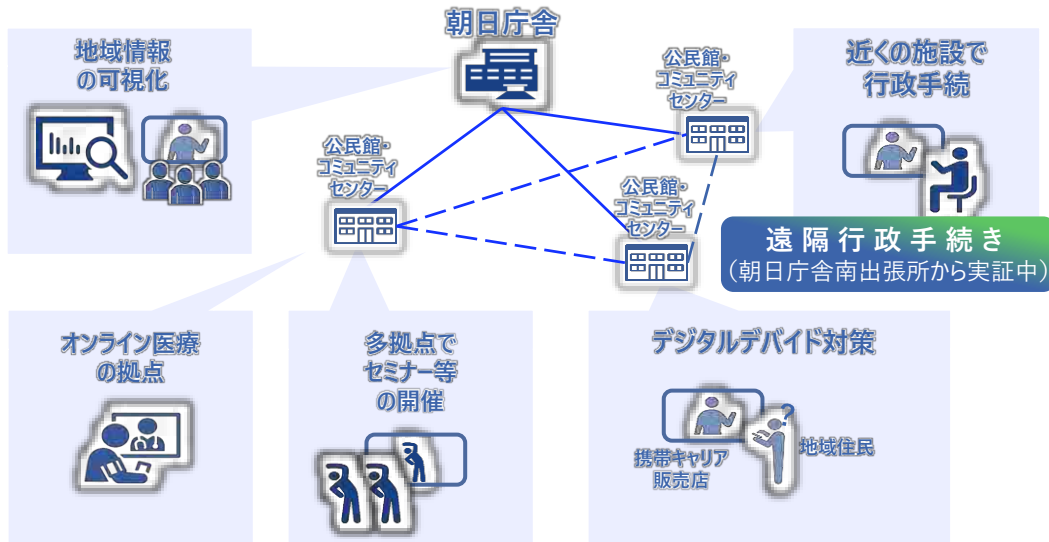


学術機関と共に地域課題解決に向けた技術開発を通し、人材育成と地元への定着を図る。  
金融機関と共に事業創発人材育成プログラムを運営し、デジタル実装社会の担い手を地域に蓄積する。

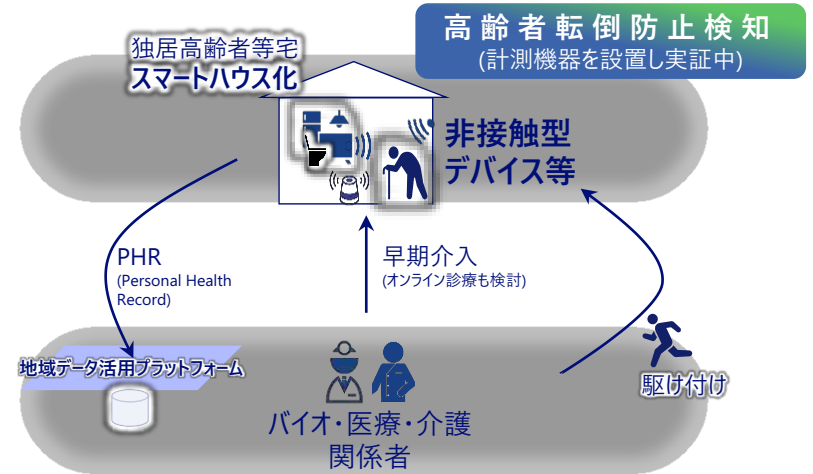


# 市民生活に身近な施策を先行的に実証開始。今後、順次実証するサービスを拡充していく。

## 1. 遠隔地域サービス提供



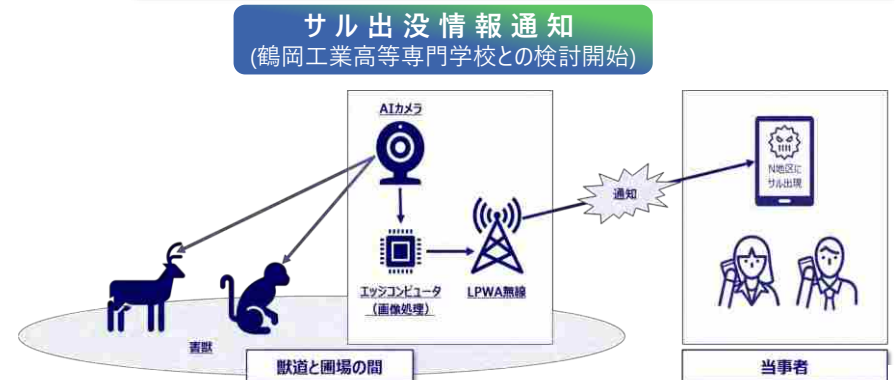
## 2. 遠隔高齢者見守り



## 3. 個々人に応じた災害情報の伝達



## 4. 鳥獣被害対策



# 鶴岡市はデジタル田園都市国家構想の文脈において、国から急速に注目され始めている。

2021年度鶴岡市が掲載された国の資料

## 産業からの変革

- 「人と産業を呼ぶ」、「デジタル地場産業を生む」、「新たなビジネスを興す」の三段階で地域産業構造を変革。
  - Stage1: サテライトオフィスに様々な人材・知見が交わる空間を作り、新たな産業創出の基盤を整える。
  - Stage2: 大学・高専などを核に人材や知見の環流を進め、デジタルを活用した新たな産業を生み出す。
  - Stage3: 地域がそのコミュニティ力を生かして、世界へ羽ばたくベンチャー・新事業を生み出し育てる。



出所) 内閣官房\_デジタル田園都市国家構想実現会議 (第2回) 牧島デジタル大臣 提出資料

POLICY & DIPLOMACY

## VISION FOR A DIGITAL GARDEN CITY NATION

ACHIEVING RURAL-URBAN DIGITAL INTEGRATION AND TRANSFORMATION

DECEMBER 2021

I Building digital infrastructure **90%** coverage

II Developing and nurturing human resources with digital skills **2.3 million** people

III Implementing digital services to solve rural issues **NEW** digital services

IV Initiatives to leave no one behind **10,000** digitalization supporters

出所) 海外向け政府広報誌「KIZUNA」